

イグサシンムシガの生態と防除

山本辰夫

1. イグサシンムシガはイ草栽培期間中に 3 回の発生があり,とくに 7 月に発生する第 3 回成虫の発生量は多かった。すくい取り調査と誘蛾灯への飛来数との間には相関関係があったが,すくい取り調査による成虫の最多採集期は,誘蛾灯への飛来最盛期より 1 半旬ほど早かった。またほ場での被害は 5 月 20 日頃から発生し,6 月下旬頃から急増した。

2. イグサシンムシガには MEP 粉剤,EPN 粉剤,ダイアジノン粒剤,ダイシストン粒剤が有効であった。またダイアジノン粒剤の第 2 世代幼虫に対する施用適期は発蛾最盛期の 7~10 日後であることが判明した。